

5 Lesson 1 This Is My House (2)

身のまわりのことを説明しよう

英語監修・出演 阿野幸一

（きょうの目標） 過去の状態を伝えることができる

- 過去の状態を伝えるには —— be 動詞の変化に注目
- be 動詞の過去形 —— 主語によって使い分け

（文法・表現） be 動詞の過去形

過去の状態を伝えるには —— be 動詞の変化に注目

次の2つの文を比べてみましょう。

- ① The smartphone is on the bookshelf.
(そのスマートフォンは本棚にあります)
- ② The smartphone was on the bookshelf.
(そのスマートフォンは本棚にありました)

この2つの文の違いは **be** 動詞の形だけですが、表す意味が大きく異なります。

①の文は、話題にしているスマートフォンが今現在本棚に置いてあることを表しますが、②の文では、そのスマートフォンが過去のある時に本棚にあったことを伝えています。もし、そのスマートフォンをなくしてしまって探している人に、そのスマートフォンの場所を伝えたとします。①の返事を聞いた場合には、スマートフォンを取りに行くためにすぐに本棚に向かうと思いますが、②の文を聞いたとしたら、今はそのスマートフォンがどこにあるかをたずねることになるでしょう。

つまり、**was** を使うことで過去の状態を表し、「スマートフォンは、今はもう本棚にはないだろう」ということになるのです。いつ本棚にあったかを表すには、**yesterday** や **last week** などの時を表す言葉をつけて

It was on the bookshelf yesterday.

(そのスマートフォンは、きのう本棚にありました)

とすることができます。

be 動詞の過去形 — 主語によって使い分け

一般動詞の過去形は規則的に変化する規則動詞と、不規則に変化する不規則動詞がありますが、be 動詞は不規則に変化します。また、一般動詞は主語が違ってても常に同じ形を使いますが、be 動詞の場合には、主語の違いによって異なる形を使います。

● am → was

I was tired last night, but I am fine now.

(私はきのうの夜は疲れていましたが、今は元気です)

● are → were

My parents were in Hokkaido yesterday, but they are in Okinawa today.

(私の両親はきのう北海道にいましたが、きょうは沖縄にいます)

● is → was

The weather was great last Sunday, but it is rainy today.

(先週の日曜日は天気がとてもよかったです、きょうは雨が降っています)

be 動詞の過去形の否定文と疑問文

■否定文

be 動詞の現在形と同様に、be 動詞の直後に not を入れると否定文になります。

Yui wasn't (was not) here this morning.

(結衣はけさ、ここにはいませんでした)

■疑問文

be 動詞を文のはじめに置き、最後に ? をつけると疑問文になります。

Were you tired yesterday?

(あなたはきのう、疲れていましたか?)

疑問詞で始まる疑問文の場合には、was / were を疑問詞の後ろに入れます。

How was your vacation?

(お休みはいかがでしたか?)

あの先生のこの話!



過去形はどのくらい前のこと?

過去形は「過去」という言葉が使われている通り、今より以前のことを表しますが、どのくらい前のことに使うのでしょうか? 次の4つの例で考えてみましょう。

Tokugawa Ieyasu was the first shogun in the Edo period.

(徳川家康は、江戸時代の最初の将軍です)

この文は江戸時代のことを表しています。今から400年ほど前のことです。ずっと昔の話ですが、過去形を使います。

When I was a child, I was shy. (私は子どものとき、恥ずかしがり屋でした)

私が子どものときは、今から数十年前ですが、これも過去形で表します。

I was sleepy this morning. (けさ、私は眠かったです)

数時間前のことも同じ形の過去形です。

Joann was here just now. (ジョアンは、たった今ここにいました)

この just now とはほんの数秒前のことです。これも過去形です。

つまり、過去形はずっと昔のことから1秒前のことまで、広い範囲の過去を同じ形で表すことができるのです。